

学生ボランティア団体紹介～学生による多摩のまちづくり～

これからの地域社会の担い手として若者の力が注目されています。多くの大学等が立地する多摩地域では、学生による地域課題の解決や地域活性化のための活動が盛んに行われています。今回は、東京外国語大学のボランティア団体の活動を紹介します。

●国際理解教育サークル くらふと

初めまして、こんにちは！東京外国語大学ボランティアサークルの「くらふと」です。私達は学生と留学生で、小学校～高校生対象の(時々、大学生や大人対象)ワークショップ形式の国際理解教育を、企画&実施しています。講義中心で行われる授業とはひと味違って、みんなで話し合い、考えながらワークショップを展開していきます。難民や紛争といった国際問題や、日本社会の中で、多様な文化・ことばをもつ人々が増えてきている状況など、幅広く様々なテーマを取り上げてきました。また、今後は長期休みには高校生を実際に大学によんで、ひとつのテーマについて深くディスカッションをしたり、キャンパスツアーを実施する予定です。ワークショップの企画、そしてその準備や当日の進行まですべて学生達が行います。準備に時間がかかり大変なこともあります、それ以上に一から作り上げ、みんなで授業をするのはとても楽しいです。ワークショップのご依頼をぜひ、お待ちしております！



小学生とワークショップ

●府中国際交流サロン児童学習支援

府中国際交流サロンでは、東京外国語大学の学生が、外国につながりをもつ小中学生を対象に、学習支援をしています(外国語を母語とする子どもはもちろん、日本語を母語とする子どもたちを含む)。また、保護者会や誕生日会など様々なイベントを催し、子どもや保護者との交流も行っています。

学習は子どもたちのレベルに合わせて行っています。日本語の教科書に沿って教えるのではなく、生活していくうえで必要な表現を中心に教えています。五教科の指導も行っており、学校の勉強を学ぶ中にも、日本語の学習を交えています。

私たちが大切にしているのは、子どもたちの気持ちをくみ取ることです。どんなことを感じているのかを理解し、一緒に考えていきたいと思っています。

毎回の学習支援の後には学生同士で話し合い、子どもたちに何ができるのかを考えています。子どもたちにとってほっとできるような場所になるようにしていきたいです。



小中学生への学習支援

●日本・イスラエル・パレスチナ学生会議

こんにちは。私たちは日本・イスラエル・パレスチナ学生会議(JIPSC)です。当団体は今なお対立関係にあるイスラエル、パレスチナの双方から、毎年夏に学生を日本に招き、日本人学生と共に会議を行っています。会議では紛争に対して様々な視点から、ディスカッションを行っています。

今年の会議は、奥多摩で開催する予定で、地元の方との様々な交流事業を計画しています。また夏の会議に向けた通常のミーティングは、武蔵野市にある公共施設「武蔵野プレイス」で行っています。

JIPSCでは今まで多くの外大生が活躍しており、代表などの要職に就き、会議を運営してきました。また外大内でも新入生のための説明会や、外大生を対象とした勉強会を開催しています。今年は外語祭に出店し、JIPSCの活動をさらに広めていこうと思っています。



浴衣で夏祭りに出店

東京外国語大学 ボランティア活動スペース(VOLAS)

■ 設立年 2004年10月

■ 連絡先 ☎042-330-5428

■ 所在地 府中市朝日町3-11-1

■ 主な業務 ①学生ボランティア事業の企画・実施
②学生ボランティア団体への指導・助言
③学外団体との連絡・調整